

市民目線に立った  
第六次釜石市総合計画実施計画の策定について

釜石市

# 第六次釜石市総合計画の構成



計画の構成	
基本構想 (10年)	長期的な釜石市の将来を展望し、市民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするものです。 なお、基本構想は議会の議決事項となる予定です。 〔計画期間：令和3年度から令和12年度までの10年〕
基本計画 (10年)	基本構想の実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な施策、重点業績成果指標（KPI）を盛り込むものです。 施策の達成度や社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて中間年で見直しを行います。 〔計画期間：令和3年度から令和12年度までの10年〕
実施計画 (3年)	施策を実施するため、緊急性・重要性・必要性及び財政状況などを考慮し、毎年向こう3ヶ年に実施する事業を示し、その進捗状況に合わせて毎年度見直しを行うものです。 〔計画期間：令和3年度から令和5年度まで 以降毎年向こう3ヶ年計画を策定〕



## 1. 目的

第六次釜石市総合計画基本構想・基本計画に掲げる施策を着実かつ効果的・効率的に実施するため、緊急性・必要性等を勘案した実施計画を策定するもの。

## 2. 対象事業：政策的経費

### ①ハード事業

- ・建設事業（災害復旧事業を除き、定期的な維持補修以外の改修事業を含む）
- ・調査設計等委託料、1,000千円以上の備品購入費、資本形成につながる補助金

### ②ソフト事業

- ・新規事業、政策的経費に位置づけるソフト事業

## 3. 実施計画策定までの流れ

11月5日	事業説明①（釜石市総合振興審議会・部会）
11月30日	事業説明②（釜石市総合振興審議会）
12月中旬	実施計画案策定
12月下旬	釜石市議会全員協議会説明
R3.3月	実施計画結果公表



## 1. 目的

第六次釜石市総合計画・基本計画に掲げる施策を着実かつ効果的・効率的に実施するための「実施計画」の策定を行う中で、市民の目線に立った事業の構築を図るもの

## 2. 内容

実施計画に掲げる各事業について、釜石市総合振興審議会委員の意見を伺い、実施計画策定の参考とするもの。

## 3. 方法

- ①11月5日（木）開催の総合振興審議会・部会、11月30日（月）開催の総合振興審議会において実施計画に計上予定の事業を説明
- ②各委員から、「目的妥当性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」、「緊急性」の5つの視点から、意見シートに意見を記載
- ③市民評価で出された総合振興審議会委員の意見を参考に、12月中旬に実施計画案を策定予定

## 4. 意見シートの記載方法

- ①意見シートは、1枚2事業となっております（事業名は、右上に記載済）
- ②提出用表紙に部会名と氏名を記載してください
- ③意見シートと「事業計画書」の事業名を確認し、事業内容を確認しながら、ご意見を記載願います。



## 5. 意見シート

視 点		ご意見
目的妥当性	目的が総合計画の政策体系に結びついている	
	市民ニーズに合っている	
有効性	高い成果が期待できる	
	市民所得の向上に寄与している	
効率性	他に効率的なやり方がないか検討している	
	コスト削減の工夫がなされている	
公平性	受益と負担が公平である	
	事業が同じ対象者や地域に集中していない	
緊急性	事業の目的・内容に緊急性が認められる	
	事業を実施しない場合にマイナスの影響が大きい	